



**丹治幹雄氏のご高見に対する私なりの反論です。
丹治氏のお考えと私の拙い反論を比較してお読みください。**

1.【国のあり方を根本から考えるということ】

—靖国神社は必要か？ 年金をやめてみたらどうか？—

構想日本 政策委員 丹治幹雄

この夏は休みを利用して10年ぶりに上海に行って来た。時速431キロのリアモーターカーはすごかったし、確かに高いビルが林立し、高速道路も充実し、バンド(外灘)にはマンハッタンの真っ只中にいるかと錯覚するような素敵なレストランも出来ている。しかし貧富の差が益々激しくなっているのか、あまり進歩したと感じなかったのは筆者だけだろうか？

丁度8月15日に現地にいたので、一日中テレビや新聞などの抗日報道につきあうことになった。あれだけ徹底した報道がされれば、国民の反日意識は醸成されるのではないかと怖く感じた。しかし、例えば問題とされる靖国問題については、国家賠償は済んでいるのだから、外国に言われて国内で二分する議論が起こることは、国益にプラスとは思われない。それより国家の意思で戦死に至った国民に哀悼の意を表するという観点から靖国は必要なのか、我々国民の問題としての本質的な議論が行われる必要がある。

この原稿を書いている今、衆院選挙の真っ只中だ。郵政民営化とか、年金問題とかの争点が提示されているが、議論が分かりにくい。郵政について言えば、過疎地域でのサービスの必要性など、全てが市場原理で機能しないの

は事実だが、国家の巨大な金融機関が効率性を阻害するのは間違いのないことであり、民営化は不可避だと筆者は考える。まずは原理原則から明確な選択肢を提示することが重要だ。

この視線で年金問題を見た場合、気がつくのは、全ての論者が年金は当然の権利と考えていることだ。でも、年金は一部自らが積み立てた部分はあるが、制度としては他人に老後の所得を補償してもらう仕組みだ。自ら生存できなければ滅びるしかないのが自然界の鉄則だとすれば、このような制度が存在すること自体がおかしいのかもしれない。

身体障害を抱えているとか、様々な理由で支援すべきところがあるのは否定しないが、結構元気なのに年金生活で悠悠自適、そうなると早く老化が進むということもあるのではないか？ いっそのこと年金を全廃して、高齢者でも自分で稼ぐことを前提にしたらどうだろう。今なら、年金受給者は平均すれば高額貯蓄があるので、困る比率は低いかもしれないし、若年層はあきらめている上に、高齢になるまでに時間があるので、準備することができる。これもまた検討の対象に据えるべき選択肢かもしれない。

このような議論が進むことが、国のかたちを決める上で、最も求められることではないか？

■ 近藤節夫(エッセイスト、(社)日本ペンクラブ会員、NPO法人「知的生産の技術研究会」会員、シンクネット構想日本会員) 2005.09.25

丹治幹雄先生のお説に疑問？

「国のあり方～」に関する丹治幹雄先生のご提言はショックでした。それにしても「年金をやめてみたらどうか？」は、いささか乱暴な気がします。国家がいかなる社会体制になろうと、最終的に国民が望み目指すのは福祉平和国家であり、その大きな柱のひとつがこれまで国家が国民とともに積み上げてきた「年金制度」ではないでしょうか。世界的に見て少子高齢化が進んでいる欧米社会でも、年金を含む社会福祉制度は課題を抱

えながらも理想へ向け前進しています。国家が国民とともに手を携え理想へ向かって歩んでいる国家プロジェクト、いわば国家百年の計については、軽々に廃止などを唱えるべきではありません。これでは、今後国民は国家の政策を信じるが出来なくなってしまう。

丹治先生が主張される「年金原資は他人の懐」説は、明らかに間違っています。年金原資はあくまで年金受給者本人の積立金がベースです。年金制度を根幹から揺るがせた原因は、少子高齢化や低金利等の外部要因もありますが、むしろ年金業務に従事していた社会保険庁職員の職務怠慢と、バブル時代に無意味な固定資産獲得で年金原資を無駄遣いしながら、何の痛痒も感じない社会保険庁トップの無責任体質にあります。まず断行すべきは、徴収し損ねた原資の回収、資産獲得に関わった元・現高級官僚・上級公務員による弁済、全社会保険庁職員の賃金カット、元職員の退職金返済等々です。議論はそれからです。

「制度の存在自体がおかしい」とか、「元気なのに年金生活で悠々自適、そうなると老化が進む」とか、「年金受給者は平均すれば高額貯蓄があるので、困る比率は低いかもしれない」との的外れで無責任なお説を披瀝して、「年金は全廃」とまで極言される丹治先生の論旨は、あまりにも短絡的で非情で年金問題解決の意図も窺えず、年金の本質からもまったく乖離しています。これではこれまで真面目に年金を納めてきた受給者は救われません。